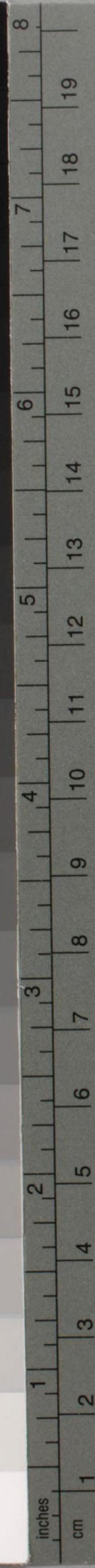


Kodak Gray Scale

© Kodak, 2007 TM: Kodak



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak



026-Te147z
*00655478 *

地球儀・天球儀

善本寫真集二十二

II

天理圖書館

026
Te1473

目次

序

1-A	Blaeu, William Jansz.	地球儀	アムステルダム	1602
B	Blaeu, William Jansz.	天球儀	アムステルダム	1602
2-A	Habrecht, Isaac.	地球儀	シュトラスブルグ	1625
B	Habrecht, Isaac.	天球儀	シュトラスブルグ	1625
3-A	Greuther, Mathias.	地球儀	ロ - マ	1632
B	Greuther, Mathias.	天球儀	ロ - マ	1636
4-A	Hill, Nathaniel.	地球儀	ロ ン ド ン	1754
B	Hill, Nathaniel.	天球儀	ロ ン ド ン	1754
5-A	Desnos, L. C.	地球儀	パ	リ 1768
B	Desnos, L. C.	天球儀	パ	リ 1758
6-A	Newton, George.	地球儀	ロ ン ド ン	c.1780
B	Newton, George.	天球儀	ロ ン ド ン	c.1780
7-A	Adams, Dudley.	地球儀	ロ ン ド ン	1795
B	Adams, Dudley.	天球儀	ロ ン ド ン	1795
8-A	Newton, George.	地球儀	ロ ン ド ン	1849
B	Newton, George.	天球儀	ロ ン ド ン	1849

地球儀は天球儀と對をなすもので、地球儀製作者は天球儀製作者でもあつた。

本集では先の「地球儀・天球儀 I」の編集直後新に館藏となつたもののうちから 8 對、16 點を選んだ。排列は製作年代順に従つた。



1-A Blaeu, William Jansz.

「地球儀」

アムステルダム 1602 直径 23 cm

中空の木製の球に12枚の、地球を印刷した舟底型紙片をはり合せ、両極を

結ぶ軸の両端を留金でとめたもの。球面は光澤ある茶色に着色され、國境は太い黒線でふちどりされている。海洋には舟、魚、海の怪物や羅針盤などが描かれ、赤道、黄道、南北回歸線、兩極圈及大西洋の中央を通る標準子午線は、彩色された2重の線で表わされている。海洋には又航海者の爲の斜航線が、そして1598—1601年に行われた、オランダ人 Oliver van der Noort の世界一周航路が記されている。ニューギニアの下にある紋章で美しく飾られたインスクリプションには、この球儀が時のオランダ王 Maurits 王妃に献上された事が明示されている。又別のインスクリプションには、製作に際し地理的記載に完全な精確さと、細心の注意をもつて仕上げた事が書かれている。Blaeu が製作した地球儀では、初期の作品で、地平環までの高さが 24 cm 全體の高さ 37 cm 中型地球儀に屬するものである。

[Stevenson; II, p. 26, 252]

1-B Blaeu, William Jansz.

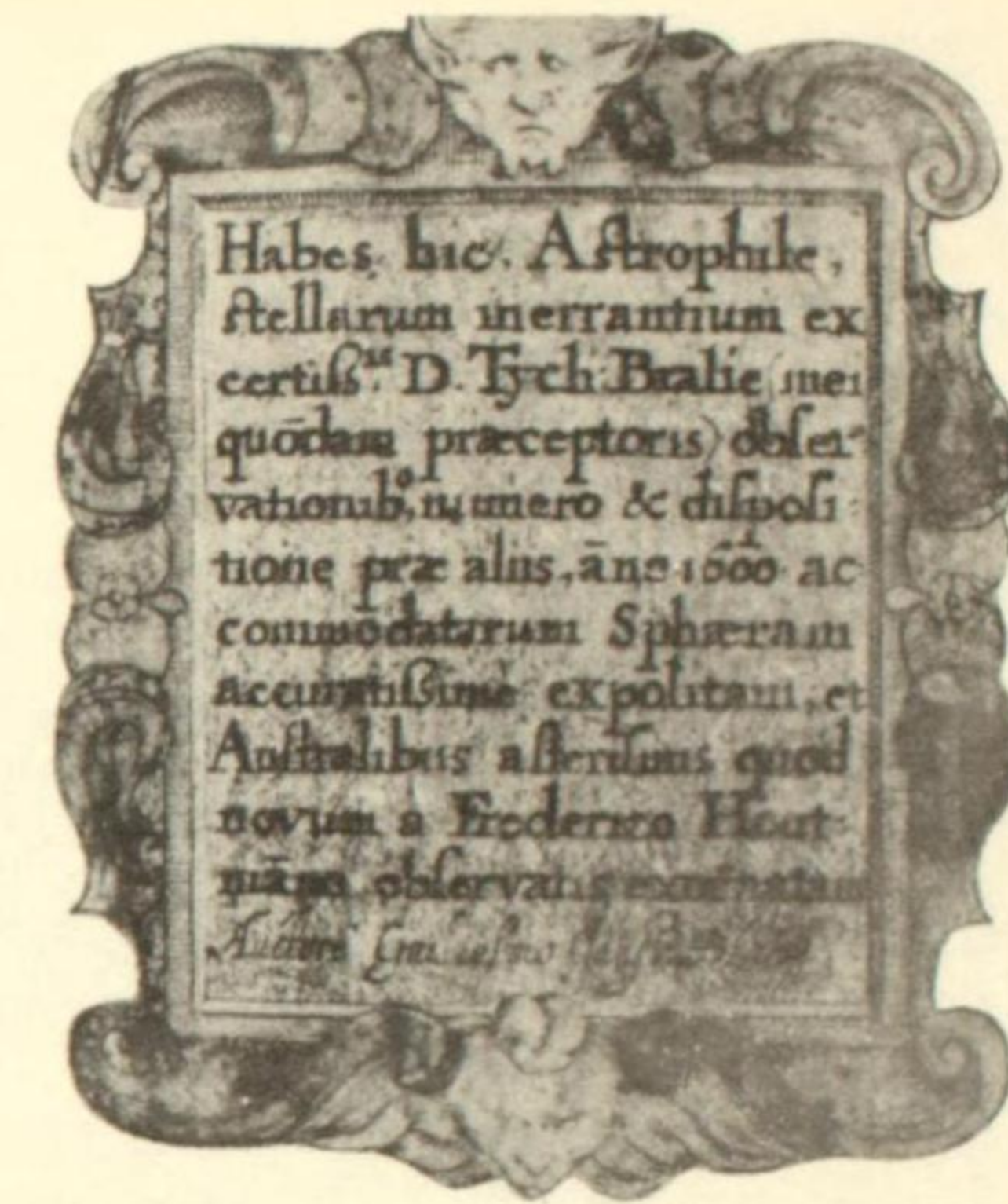
「天球儀」

アムステルダム 1602 直径 23 cm

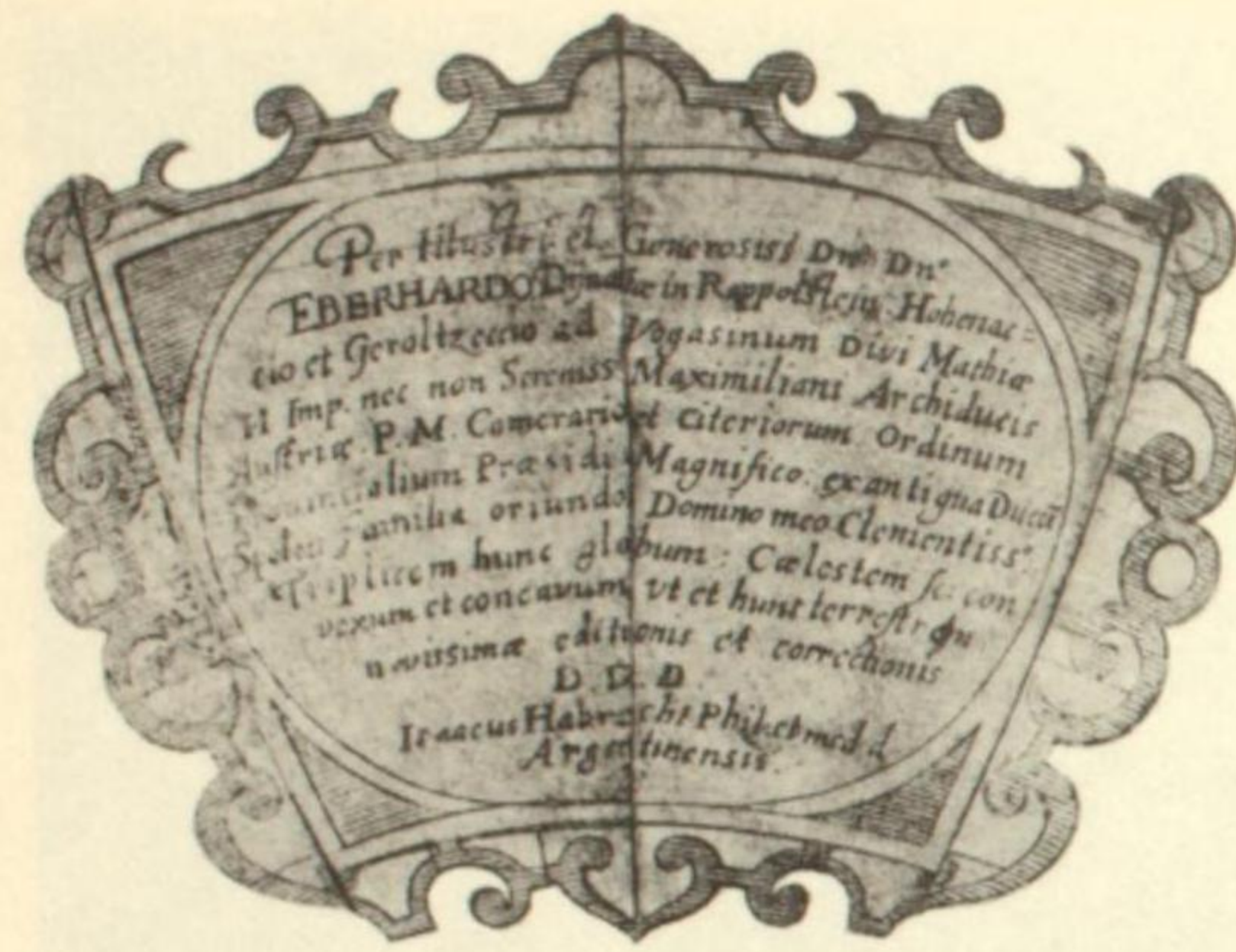
中空の木製の球に12枚の、天球圖を印刷した舟底型紙片をはり合せ、兩極を結ぶ軸の兩端を留金でとめ、赤道、黄道は着色した目盛のある線でかかれ、球面に星座を表わす、すぐれたデザインの動物、舟、人物が精巧に描

かれ、ラテン、ギリシア語でその名稱を記してある。地平環及椗材で出來た臺座は地球儀と同一で、最初から對として製作されたものである。大熊座近くに Blaeu の師 Tycho de Brahe を讃えるインスクリプションがあり、全星座は Tycho の精密な觀察によるもので、その他1600年に新しく発見されたもの、更に後日天文學者 Frederick Houtmann の発見による南の星座等を加へた事が記してある。その他 Ptolemy の48の星座に、古代から度々引き出される Bernicess Hair と Antinous 星を加へている。この大きな星は1572年異状な輝きをして、カシオペア座に現われたものである。白鳥座の横にあるインスクリプションには又1600年白鳥の胸の所に新しく発見され、現在はすでに亡くなつた星の見方について次のように記されている。

“Novam illam stellam quae anno 1600 Primum in pectore Cygni apparuit ex diligenti nostra ad eandem Lyrae lucidae observatione longitudo 16°15', latitudo 55°30' labore comperimus” [Stevenson; II, p. 29-30, 252]







2-A Habrecht, Isaac.

「地球儀」

シュトラスブルグ 1625 直径 20 cm

中空の木製の球に12枚の地図を印刷した舟底型紙片をはり合せ、着色したもの。海洋には船、魚が描かれ、赤道、黄道、大西洋上を通る標準子午線は陰影のある平行線で書かれている。

木製の地平環には12の星座名、月名、方位等を印刷した紙片がはられているが、やや不鮮明である。椗材の臺座は地平環を支える手すり形の黒い四本の脚を持ち、その内部下方の圓板の中央より兩軸を支える、子午環の一端を受ける短い脚が突出して廻轉を自由にしてている。球面には赤道と標準子午線のある地點を中心とした斜航線が書かれている。オーストラリアの下方にあるインスクリプションによると、この球儀がオーストリーの Maximilian 大公及皇帝 Matties II 世その他の人に献上された事が記してある。又アメリカの北部の所には Davis, Schouten, Le Maire による北極探検及南極大陸発見の事がそれぞれラテン語で説明されている。製作者 Isaac Habrecht (1589—1633) は内科醫、數學者であり、最初の作品は1619年で、現存するものは地球儀3臺、天球儀4臺が知られている。

[Stevenson; II, p. 50-53, 263, Fig. 101]

2-B Habrecht, Isaac.

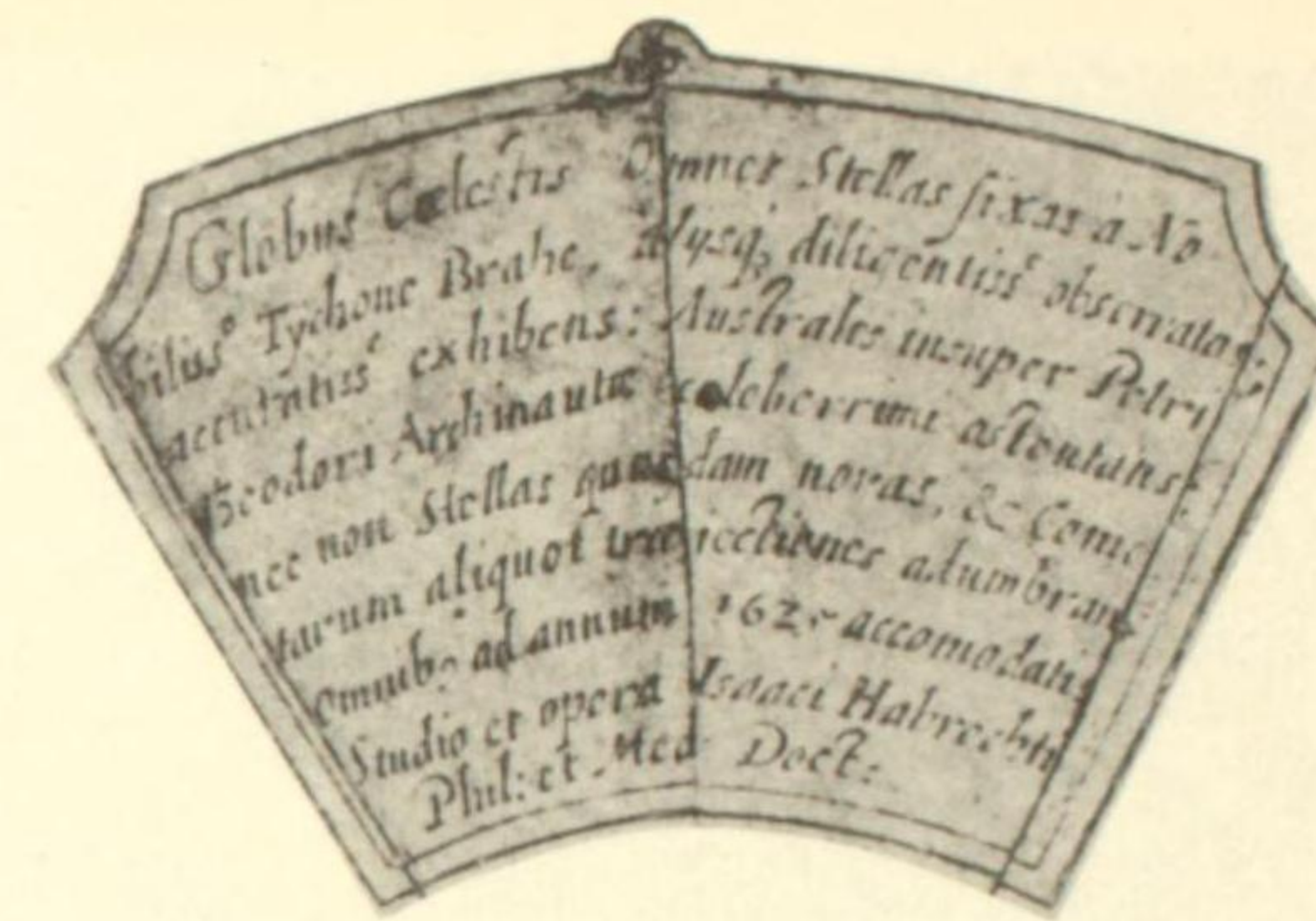
「天球儀」

シュトラスブルグ 1625 直径 20 cm

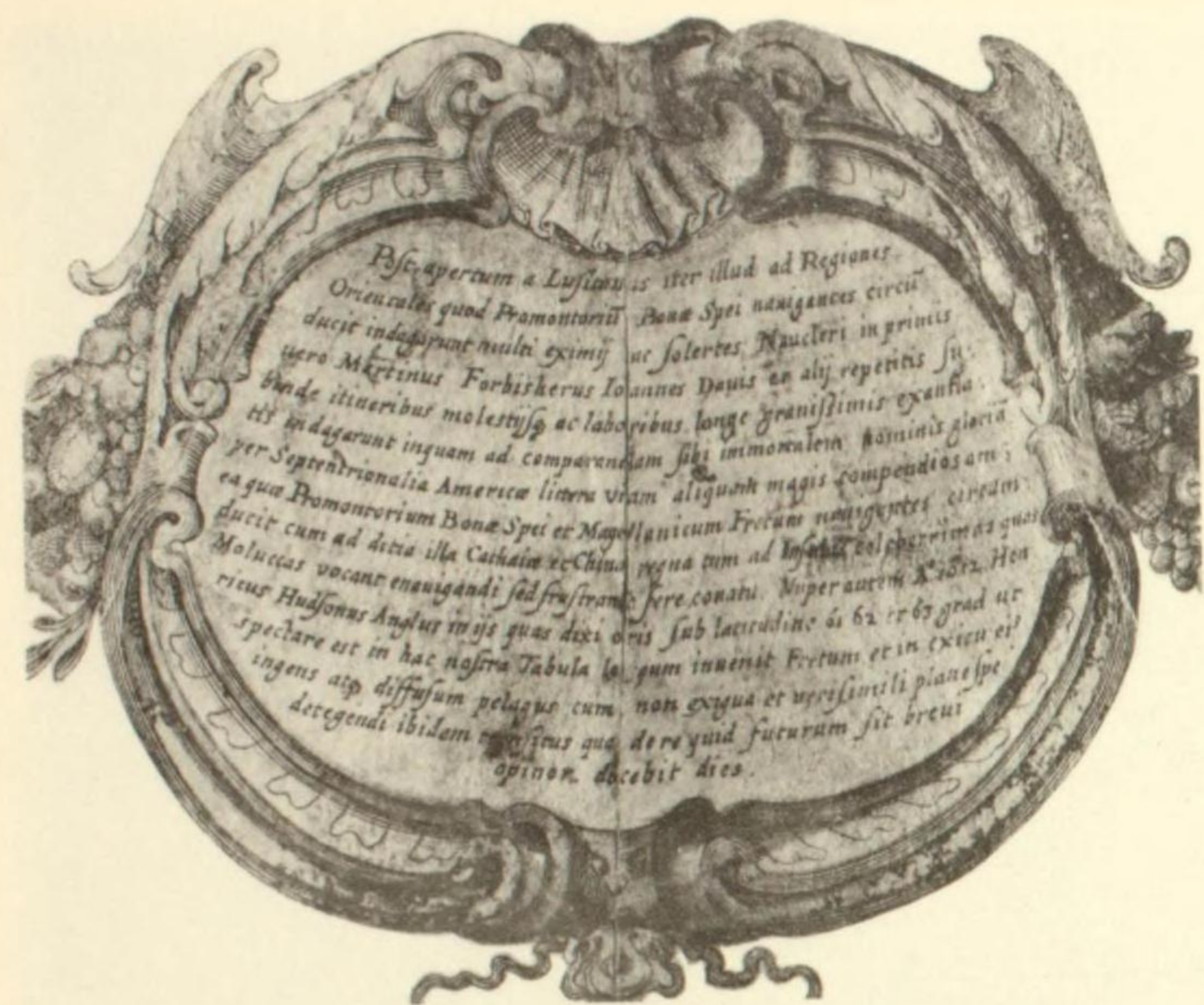
中空の木製の球に12枚の天球圖を印刷した舟底型紙片をはり合せ、兩極を結ぶ軸の兩端を留金でとめたもの。彩色を施し、赤道、黄道は陰影のある平行線で表わし、ラテン語で名稱を記した動物、人物等を描いた星座が一面にかかっている。子午環、地平環、臺座共に地球儀と同一のものである。海へび座の右にある扇形のインスクリプションによると全星座は有名な Tycho de Brahe が1619年に觀測したものと、15世紀の航海師 Petri による南の星及彗星を参照した事が明示されている。

しかし後日 Habrecht は1625年に觀測された新しい星を付け加えている。彼はこの天球圖を書く際に、Blau や Hondius の球儀を参考にして書いた事はつきりしている。

[Stevenson; II, p. 53, 263]







3-A Greuther,
Mathias.

「地球儀」

ローマ 1632 直徑 48cm

中空の木製の球に12枚の地図を印刷した舟底型紙片をはり合せ、両極を結ぶ軸の両端を留金でとめたもので、薄茶に着色され、各大陸の海岸線は

黒の横縞線でふちどりされている。海洋には多くの彩色された船、魚、海の怪物及羅針盤が精密に描かれている。目盛のついた赤道、黄道、及大西洋上を通る標準子午線は陰影のある平行線で、更に南北回帰線は赤の太線でそれぞれ明示されている。木製の子午環、地平環には度数が目盛り、12の星座を表わす動物、方位、月名を印刷した紙片がはられている。木製の臺座は黒と黄色に彩色された4本の脚で出来ておる。地理的・名稱の内、海洋と古い中世世界の地名は、ラテン語で、新世界の地名はスペイン語、ポルトガル語、英語、フランス語、オランダ語そして土地の土語で記し、各都市名はその土地の言葉か、イタリア語で記してある。北アメリカ及カナダ地方の内陸及海岸線はまだ正確に書かれていない。特に五大湖は一つの大きな内陸湖として描かれている。更にこの地球儀の特徴として17世紀の30~40年の間にオランダ人によつて発見されたオーストラリア大陸の西海岸地域が手書きで書き加えられている。球儀には巧くみな渦巻装飾をした美しい4つの大きなインスクリプションがあり、その南極近くのものには、「この球儀には、これまでにポルトガルや他國の航海者によつて発見され書きとめられた、すべての大陸地域、群島が正確に、最大の注意をもつて記入してある。そして地理を學ぶための學生にのみ使用せられる※

3-B Greuther, Mathias.

「天球儀」

ローマ 1636 直徑 48 cm



中空の木製の球に12枚の地図を印刷した舟底型紙片をはり合せ、着色したものの。赤道、黄道は陰影のある平行線

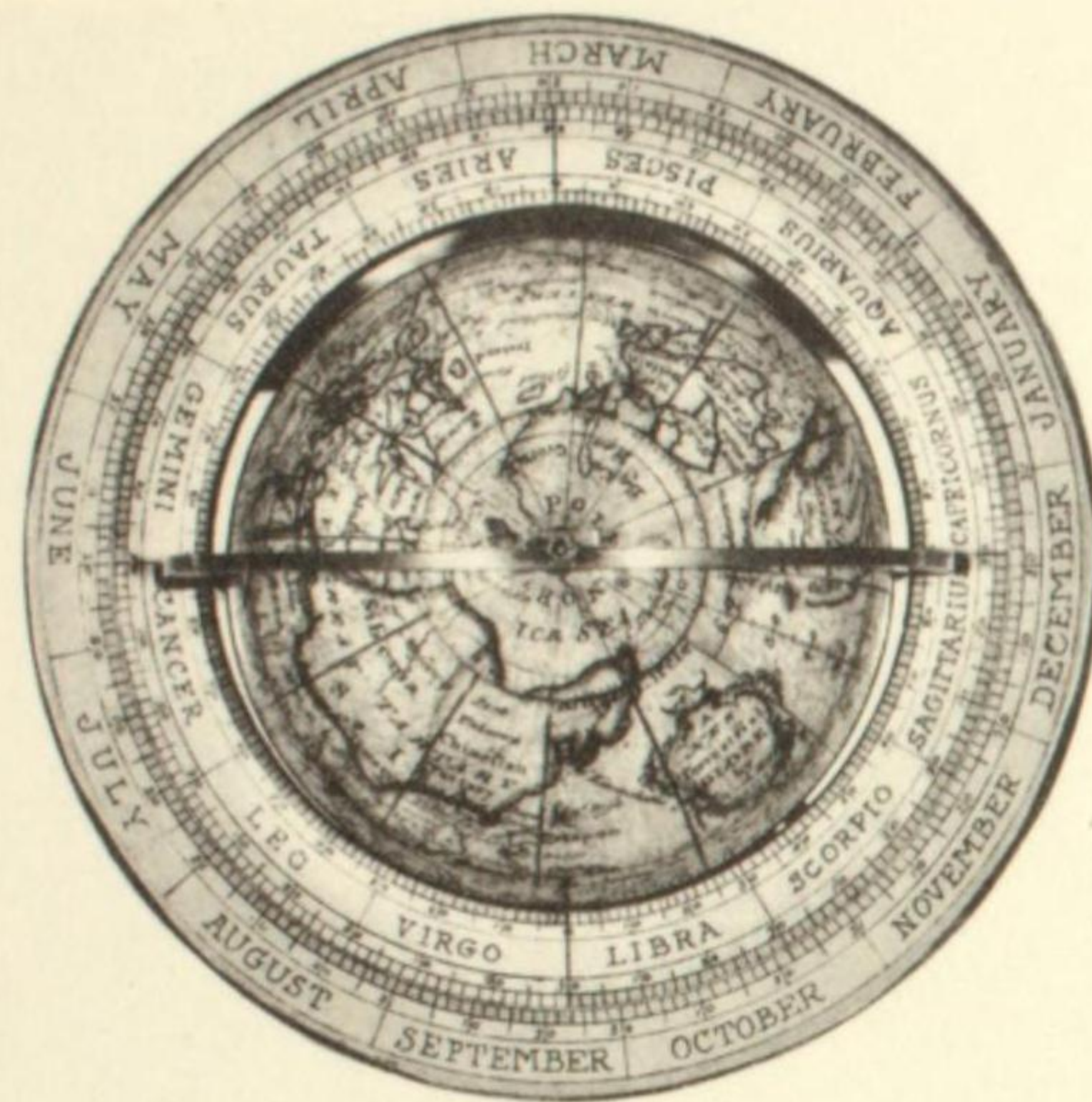
で表わし、すぐれたデザインの動物、人物を描いた星座像にはラテン語とアラビア語で名稱を記してある。この天球儀は地球儀の對として後日新たに製作されたもので、子午環、地平環及木製の臺座は共に同型のものである。サソリ座の上のインスクリプションによると全恒星は1636年に新しく観測されたものと、天文学者 Tycho de Brahe 及1622年の Blaeu の天球儀によつて書付け、更に南極その他を航海した海洋探検家 Peter Theodri 等によつて知られた星を加えている。Greuther 製作の球儀はすべて同一サイズ及同形式ばかりで、現存するものはこの他地球儀48個、天球儀が46個ある。その内の殆んどが1632年に製作されたものである。M. Greuther (1556-1638) はシュトラスブルグで生れ、最初デザインと彫刻を學んだが、後イタリアへ行き地圖と地球儀製作に従事した。彼はオランダの球儀製作の指導者と言う稱號を受けている。

[Stevenson ; II, p. 58-59, 262]

※ ものでなく、遠い國々へ行こうとする實際の航海者に、特に使用せられるものである」と記し、更に別のインスクリプションによると、この球儀が當時 Bologna の名門 Jacob Boncompagni 公爵に献上されたものである事が明示してある。高さ 61 cm 地平環の巾 9.5 cm という大型で實用向きに作られたものである。この球儀は初版から複製したものである。

[Stevenson ; II, p. 54-58, 261, Fig. 102]





4-A Hill, Nathaniel.

「地球儀」

ロンドン 1754 直径 6 cm

中空のボール紙の球に12枚の地図を印刷した舟底型紙片をはり合せ、両極を結ぶ軸の両端を留金でとめたもの。真鍮製の子午環には赤道を0度として両極に向け10度ずつ目盛りされ、直径

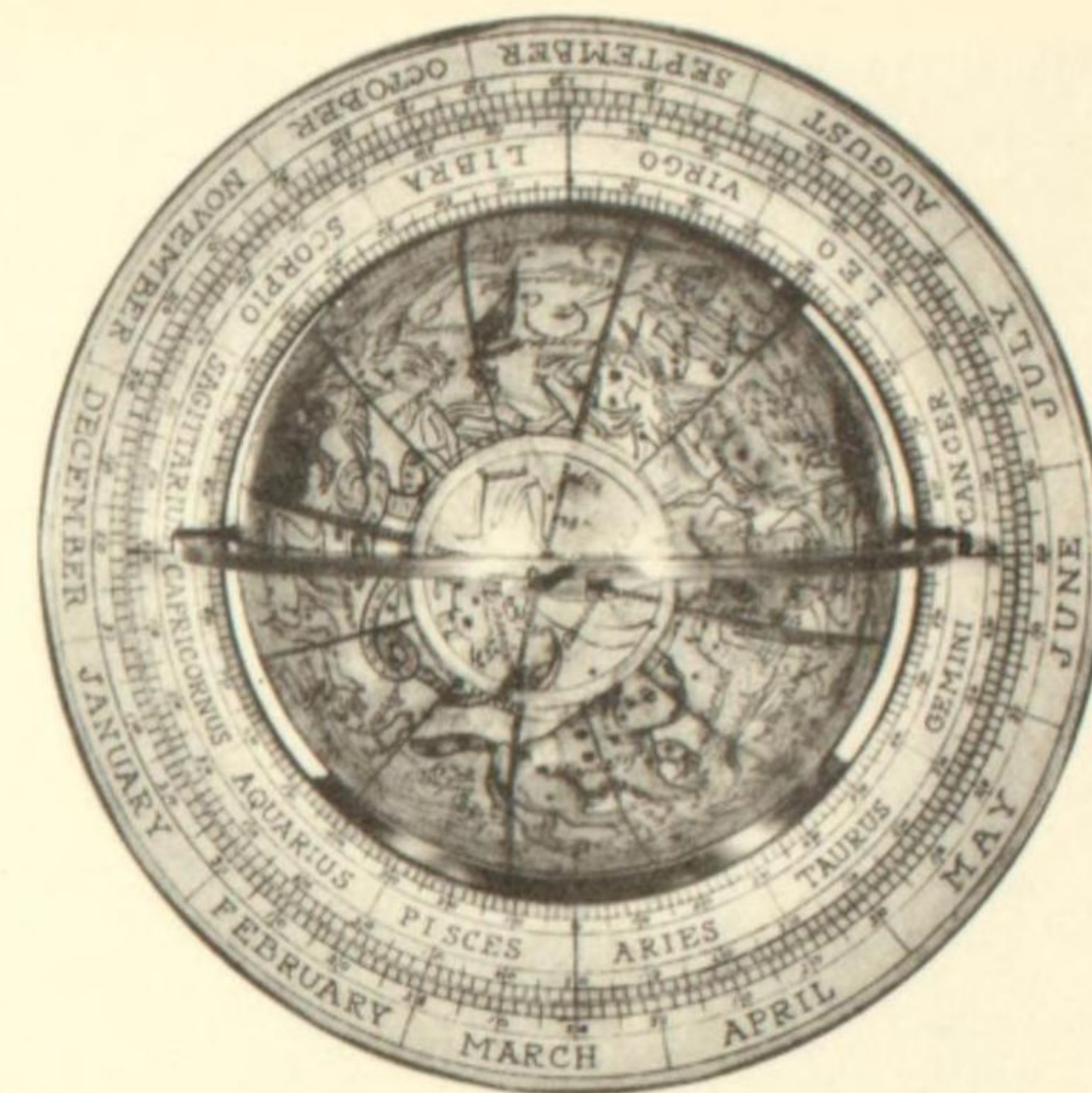
1 cm の木製地平環の表面には黄道帯の星座名、月名、32の方位が描かれている。海洋は無色、大陸は赤、黄、緑の各色で美しくふちどりされている。更に大洋には1740—1744年の間に行われた Anson 提督の世界探検の航路が明示され、赤道、黄道は黒の点線で描かれている。現在の太平洋は南の大洋とし、南アメリカ沿岸地域を太平洋と名付けている。アメリカ北部とアジア大陸の間は海洋になつており、カナダの東部とアラスカは省かれている。カリフォルニアの左側を通っている標準子午環は目盛りのある点線で表わされている。南アメリカには多くの地方的名称が付けられ、又東南アジア洋上にはオーストラリアが New Holland 及 New Zealand として不明確な線で表わされている。球儀全体は地図共に良く原型を保っているが、非常に小型で地理的掲載に不十分な点が多い。18世紀の James Ferguson の球儀と良く似ている。製作者 Nathaniel Hill は18世紀中頃の地図設計師であり、後地球儀製作に轉向した。現存する物はこの他、地球儀3臺、天球儀2臺がある。

[Stevenson ; II, p. 187, 264, Fig. 130 a]

4-B Hill, Nathaniel.

「天球儀」

ロンドン 1754 直径 6 cm

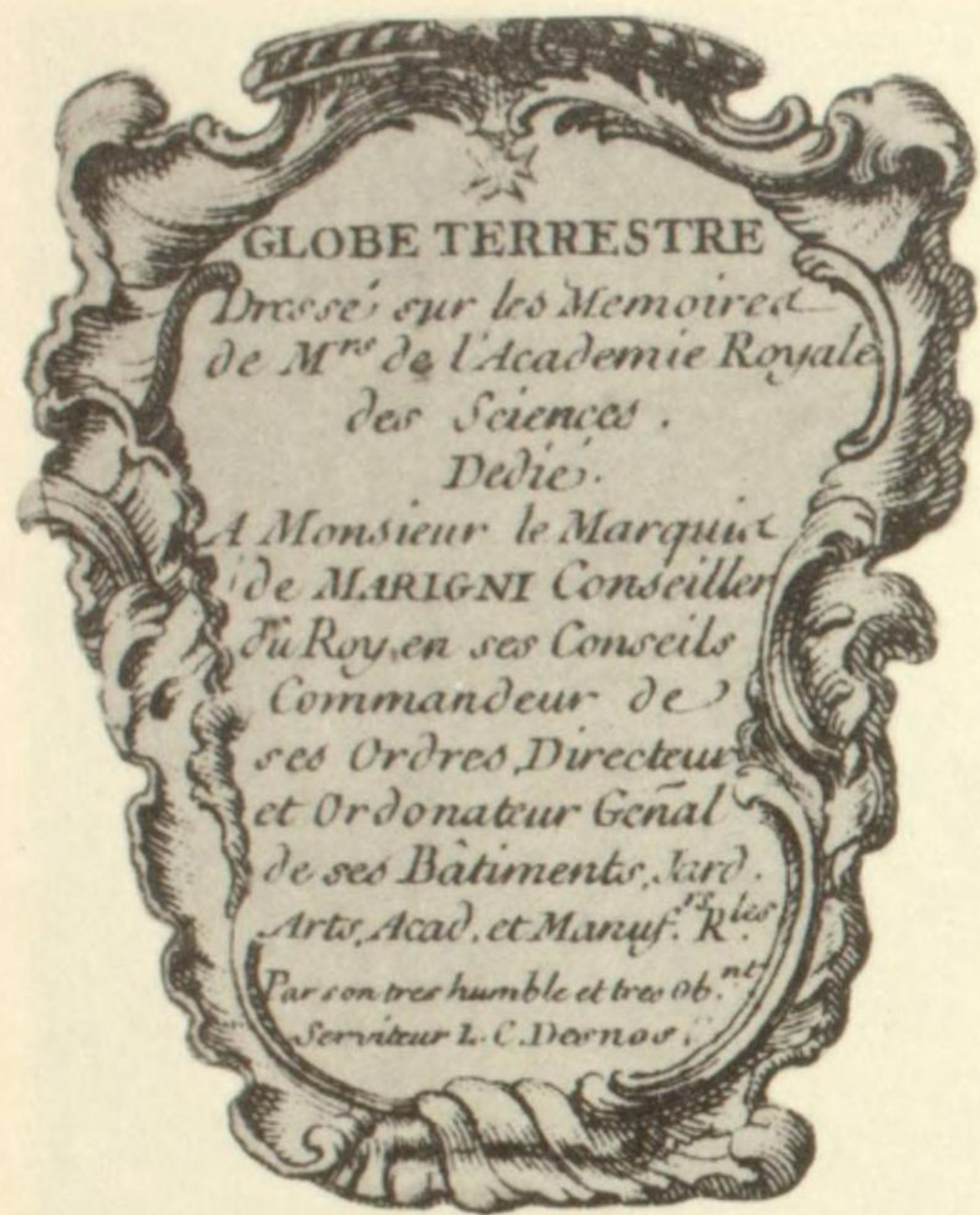


中空のボール紙の球に天球圖を印刷した24枚の半舟底型紙片をはり合せ、赤、黄、緑、灰色等で着色されている。赤道、黄道、4本の標準子午線は陰影のある平行線で表わされ、星座を示す

動物、人物が球面にくまなく描かれている。臺座、子午環、地平環は共に地球儀と同型のものである。南北両極圏内は別の圓い紙片がはられている。更に一枚の舟底型紙片を半分に切つてはり合した部分が少しずれているため、南北を結ぶ経線は合っていない。製作の點で少し粗雑な感がする球儀である。インスクリプションはなく年號も書込まれていない。Stevenson も天球儀に関しては何も言及していない。

[Stevenson ; II, p. 187, 264]





5-A Desnos, L. C.

「地球儀」

パリ 1768 直径 32 cm

中空の木製の球に12枚の地図を印刷した舟底型紙片をはり合せたもの。各大陸は赤、緑、黄色でふちどりされ、海洋には多くの舟が描かれている。目盛のついた赤道、黄道は黒の太線で、南北回帰線と両極圏は赤の太線で表わしてある。球面には1711年3月に行つた

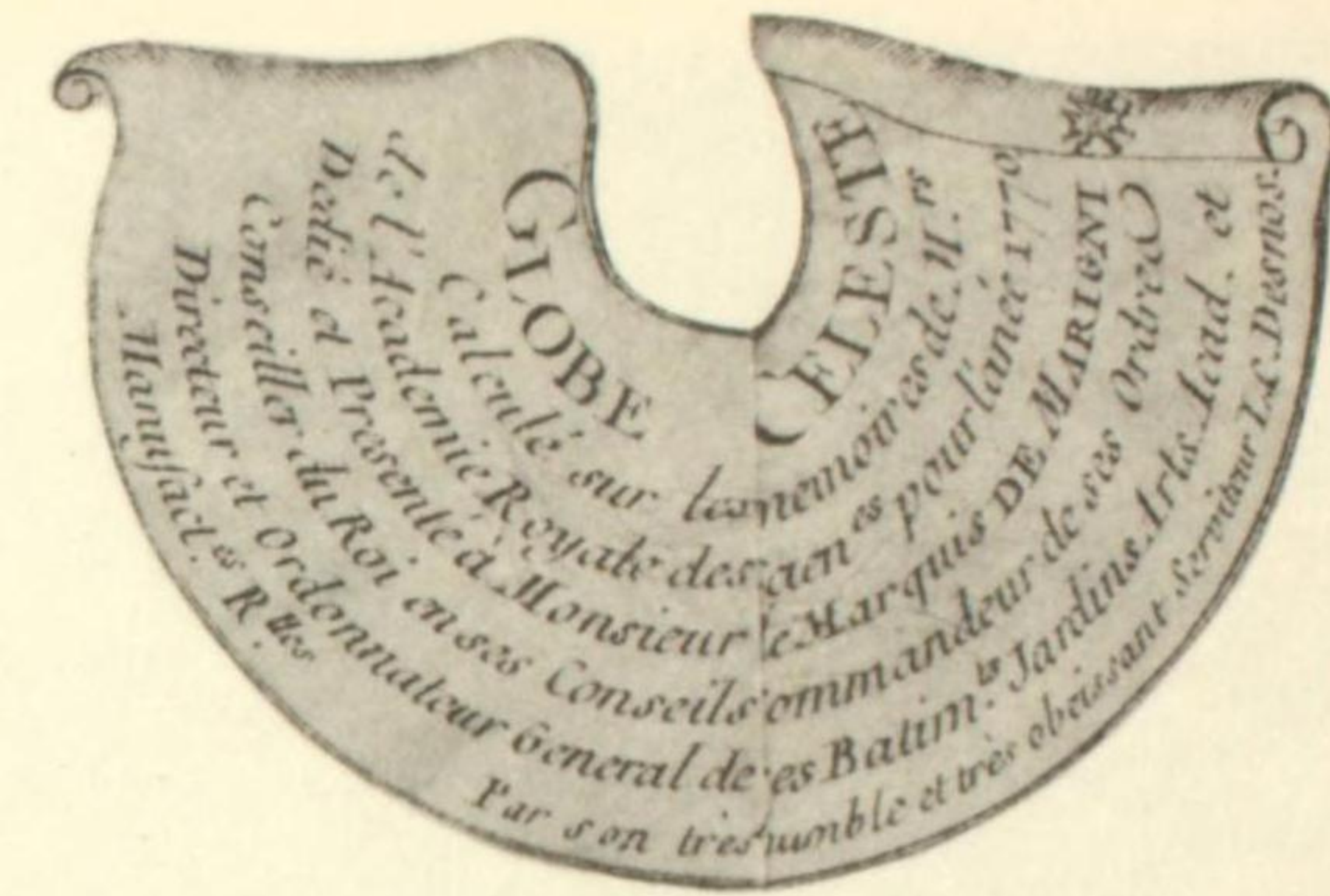
Anson 提督の世界探検航路が明示されている。厚紙製の地平環は手すりの形をした木材にワニスを塗つた四本の脚で支えられ、スタンド中央より突き出た同型の脚の上に、厚紙製の子午環がのつている。地平環の表面には、月名、方位、度数、動物の像をかいた星座名を印刷した紙がはられている。これらの環は紙製のため、一部破損したり反りが出来ている。製作者 L. C. (Pierre-Joseph?) Desnos は18世紀後半のデンマークの有名な地理学者で、デンマーク王から“Geographical Engineer”を受け、1778年にはパリで“Atlas Général et Élémentaire”の稱號をもらつた。多量の地図を製作する一方1753年には初めて地球儀を作つた。臺座を含めた全體の高さが 55 cm で大型地球儀に屬する。この球儀は1753年に作つた球儀の複製で、オーストラリアの左下にあるインスクリプションによると、當時のフランス貴族 Marigni に献上されたものである。

[Stevenson; II, p. 178, 258]

5-B Desnos, L. C.

「天球儀」

パリ 1758 直径 32 cm



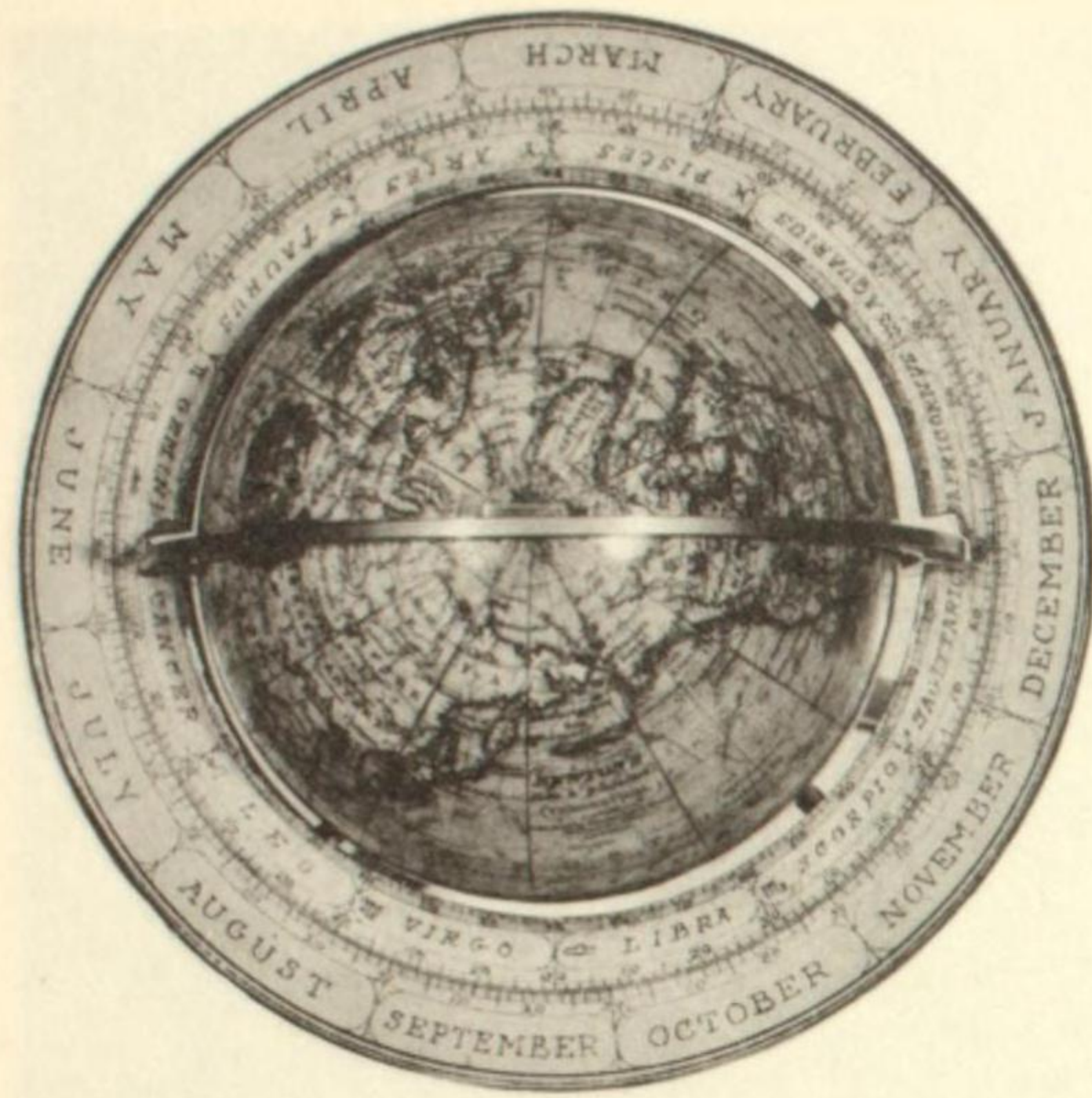
中空の木製の球に天球圖を印刷した12枚の舟底型紙片をはり合せ、着色したものである。赤道、黄道は陰影のある平行線で表わされ、星座を示す動物、人物等が球面にくまなく描かれている。球面全體は茶褐色をしており、やや全體に暗い球儀である。木製の臺座、厚紙製の子午環、地平環は共に地球儀と同じ物であるが、やや安定感に缺ける。この球儀を範とした新しい天球儀が、1770年パリの科學アカデミーの正密な觀察による星座を書き加えて製作された。この球儀も地球儀と同様にフランス貴族 Marigni に献上されたもので、天蟹座近くのインスクリプションには次のように説明されている。

Calculé sur les memoires de Mrs. de l'Academie Royale des sciences pour l'anée 1770 Dedié et Présenté à Monsieur le Marquis de Marigni conseiller du Roi en ses Conseils Commandeur de ses ordres Directeur et Ordonateur General de ses Batim^{ts}. Jardins Arts. Acad. et Manufact^{es}. R^{lles}.

Par son très humble et très obeissant Serviteur L. C. Desnos

[Stevenson; II, p. 178-179, 258]





6-A Newton, George.

「地球儀」

ロンドン c.1780 直径 7 cm

中空の木製の球に12枚の地図を印刷した舟底型紙片をはり合せ、両極を結ぶ軸の両端に留金を付けたもの。各大陸は赤、緑、黒の色でふちどりされ、海洋には1725—1778年の間に行われた

Captain Cook の太平洋及アメリカ北西海岸探検航路、そして1779年の Clark と Gore の2人によるハワイ諸島、日本の東海岸探検航路が年號と共に印されている。

インドの上部、メキシコ灣、パナマ、ハワイ、ホーン岬の球面が幾分破損している。赤道、黄道は目盛りのついた細い黒線で印され、木製の地平環には12の星座名、月名、方位等を目盛りした紙片がはつてあり、4本の細い木製の腕で支えられ、その軸の下から3本の脚が伸びている。地平環の直径 11.5 cm 巾 2 cm 高さ 19 cm と云う小型地球儀である。

製作者 G. Newton については Stevenson は何も言及していないので、詳にし得ないが、18世紀後期から19世紀にかけての球儀製作者であつたと思われる。現存する球儀はこれ以外に1787年に製作した直径 38 cm の對の球儀が知られている。インスクリプションには製作年代は書かれていないが製作者は Newton の息子と Berry となつている。

[Stevenson ; II, p. 268]

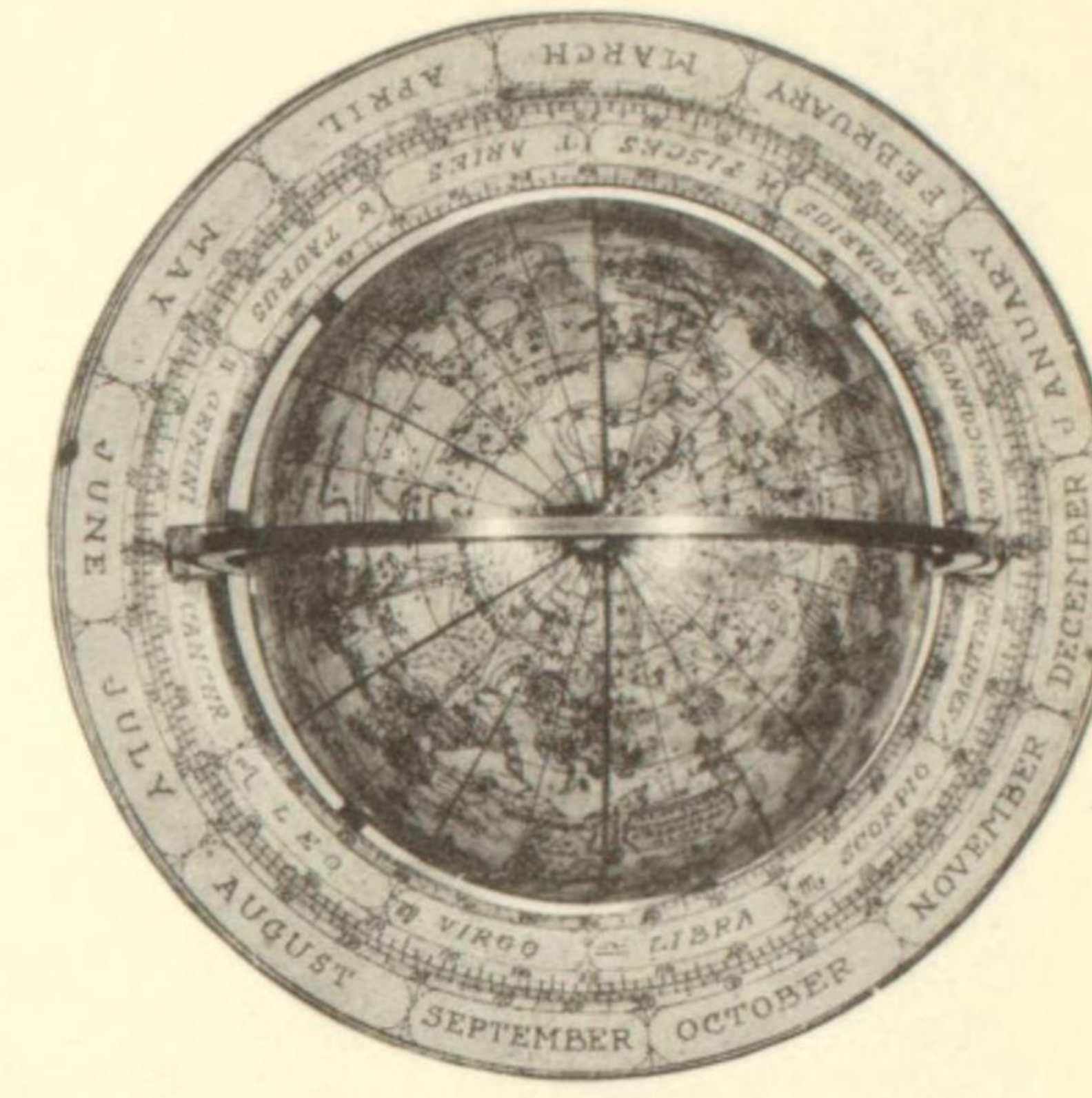
6-B Newton, George.

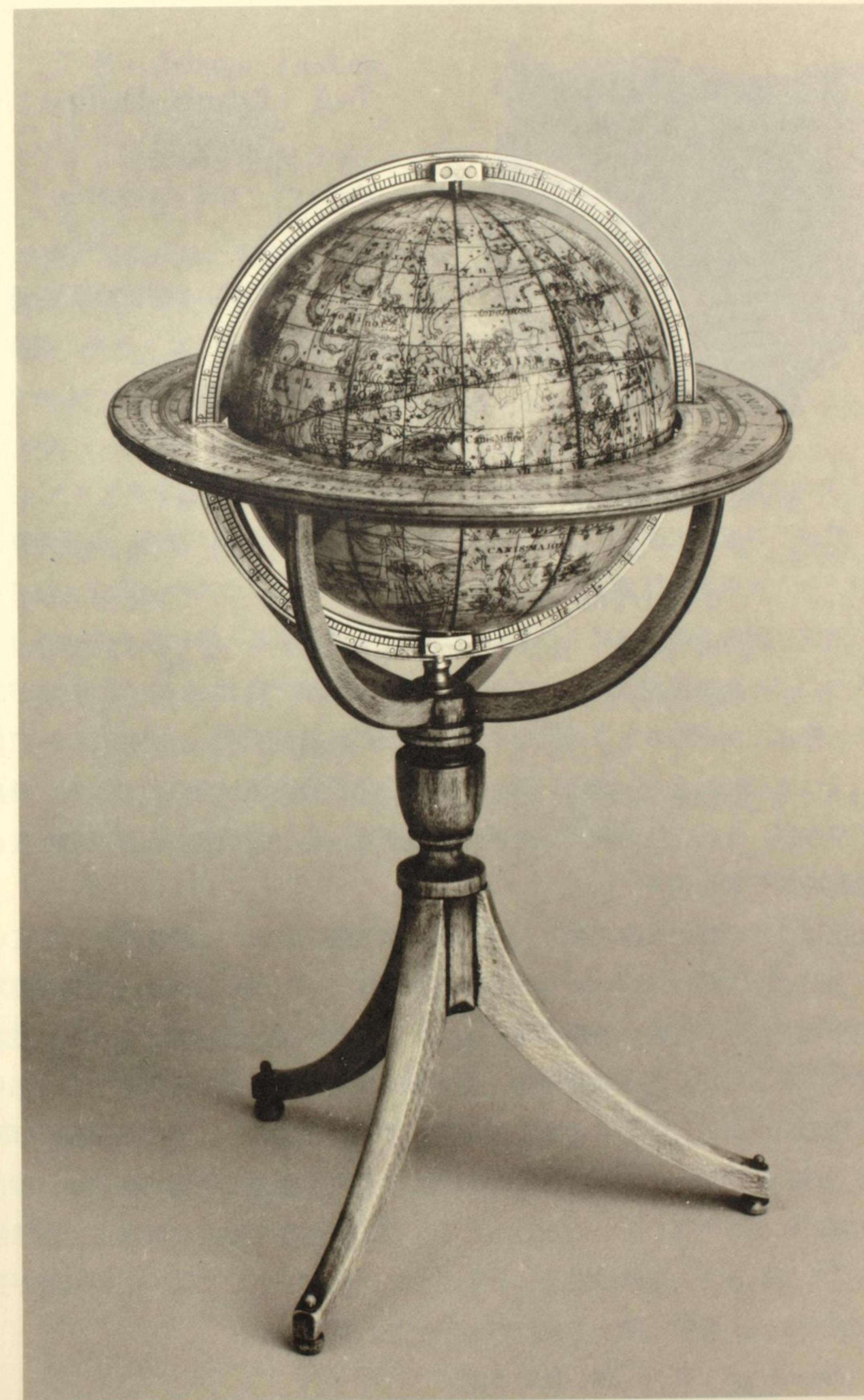
「天球儀」

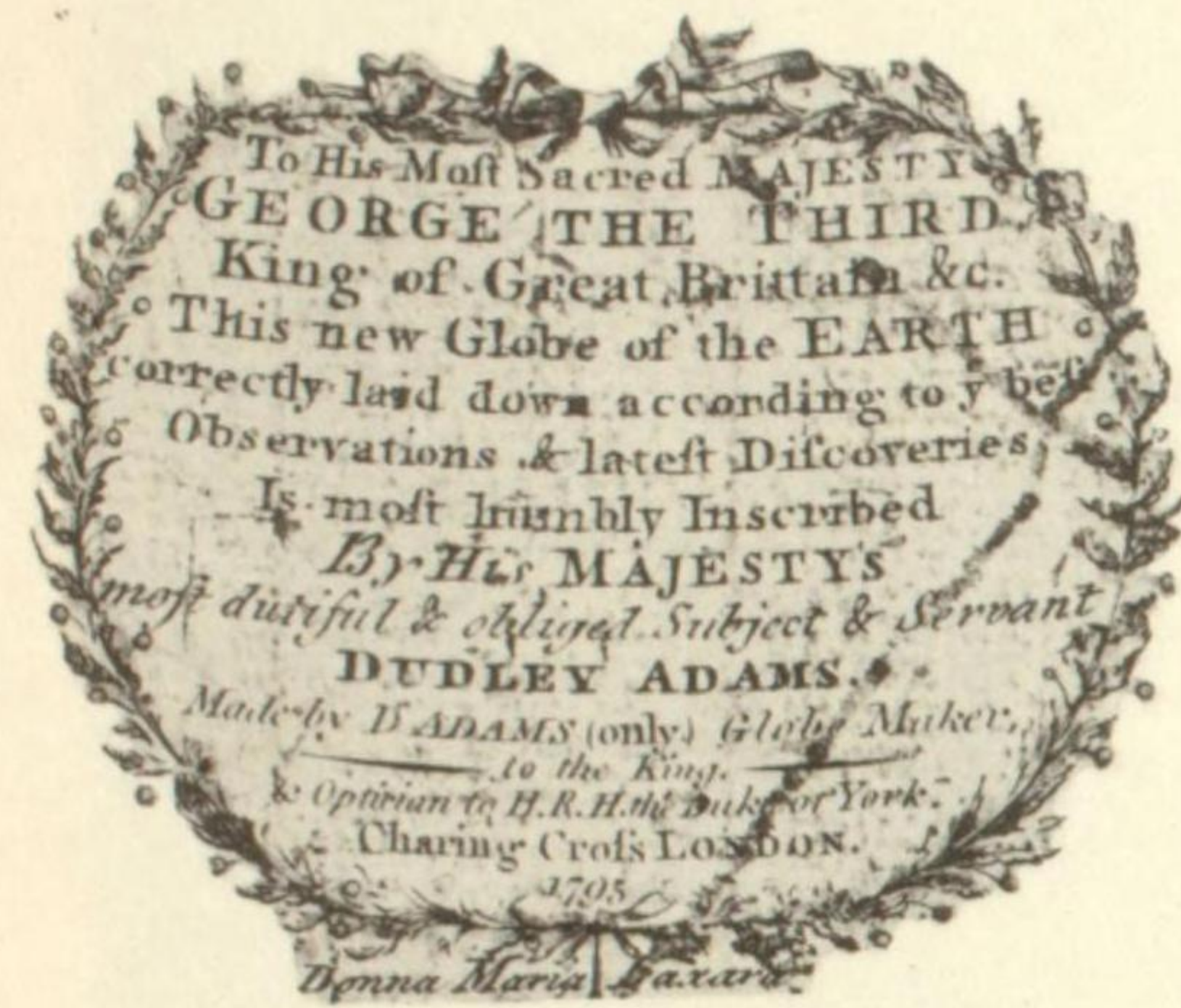
ロンドン c.1780 直径 7 cm

中空の金属製の球に12枚の天球圖を印刷した舟底形紙片をはり合せたもの。この球儀は製作後再び改良されたもので、對の地球儀と比べ色彩がやや淡白である。赤道、黄道及標準子午線は目盛りのついた赤線で示され、球面には星座を表わす着色された動物、人物、機械等が一面に描かれている。子午環、地平環及三脚は地球儀と同型のもので、球儀全體として星座像共に良く保存されている。Newton の球儀は実用向きではなく装飾的なものであると言える。

[Stevenson ; II, p. 268]







7-A Adams, Dudley.
「地球儀」

ロンドン 1795 直径 30 cm

中空の木製の球に24枚の地図を印刷した半舟底型紙片をはり合せ、両極を結ぶ軸の両端を留金でとめたもので、着色を施してある。目盛りのついた赤道、

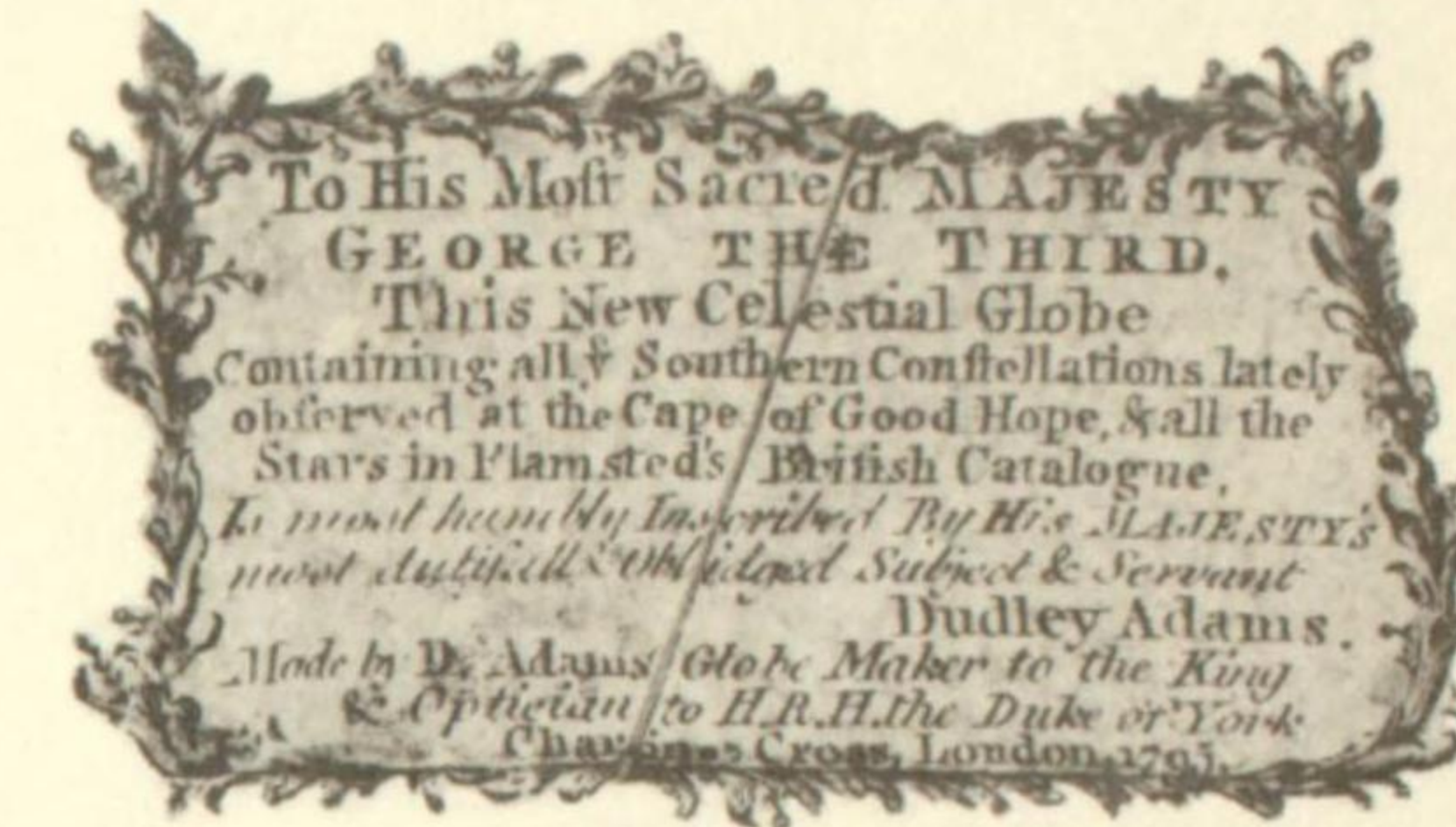
黄道は陰影のある平行線でかかれ、南北兩回歸線は青色で着色されている。標準子午線は太平洋の真中を通っている。球面の地図は当時の平面地図と同様、全く実用的に作製されている。しかし探検隊によつて十分調査されていない地域は製作者の想像によつてかかっている所がある。特に彼がアメリカ合衆國の西部と南西部地域についてあまり精確な知識を持つていなかった事がわかる。海洋には赤道のある地點を中心とした斜航線を明示し、更に1773—1778年に亘つて行われた Captain Cook の太平洋探検航路が記されている。真鍮製の子午環、たわみ性の細長い金屬片製の1/4環、そして星座名や月名等を描いた木製の地平環を備えている。

臺座は3本の脚で出来ており、その真中に直径 13 cm の羅針盤が付いている。製作者 Dudley Adams [18世紀後半] の父 George Adams は計算器類の製作者であり、同時に英國皇帝 George III 世の宮廷付眼鏡商であつた。後地球儀製作者として、更に地理學的、天文學的な物を主題とした著者として知られる様になつた。父の仕事を2人の息子が手助けしていた。兄の George (1750—95) と弟の Dudley である。弟 Dudley の生歿年は全く不明であるが、19世紀初期にはまだ生存していたと思われる。1810年には父と共に30番目の地球儀を製作している。太平洋の右上にあるインスクリプションには、この球儀が英國皇帝 George III 世に献上された事が明記されている。

[Stevenson; II. p. 184-185, 249]

7-B Adams, Dudley.
「天球儀」

ロンドン 1795 直径 30 cm

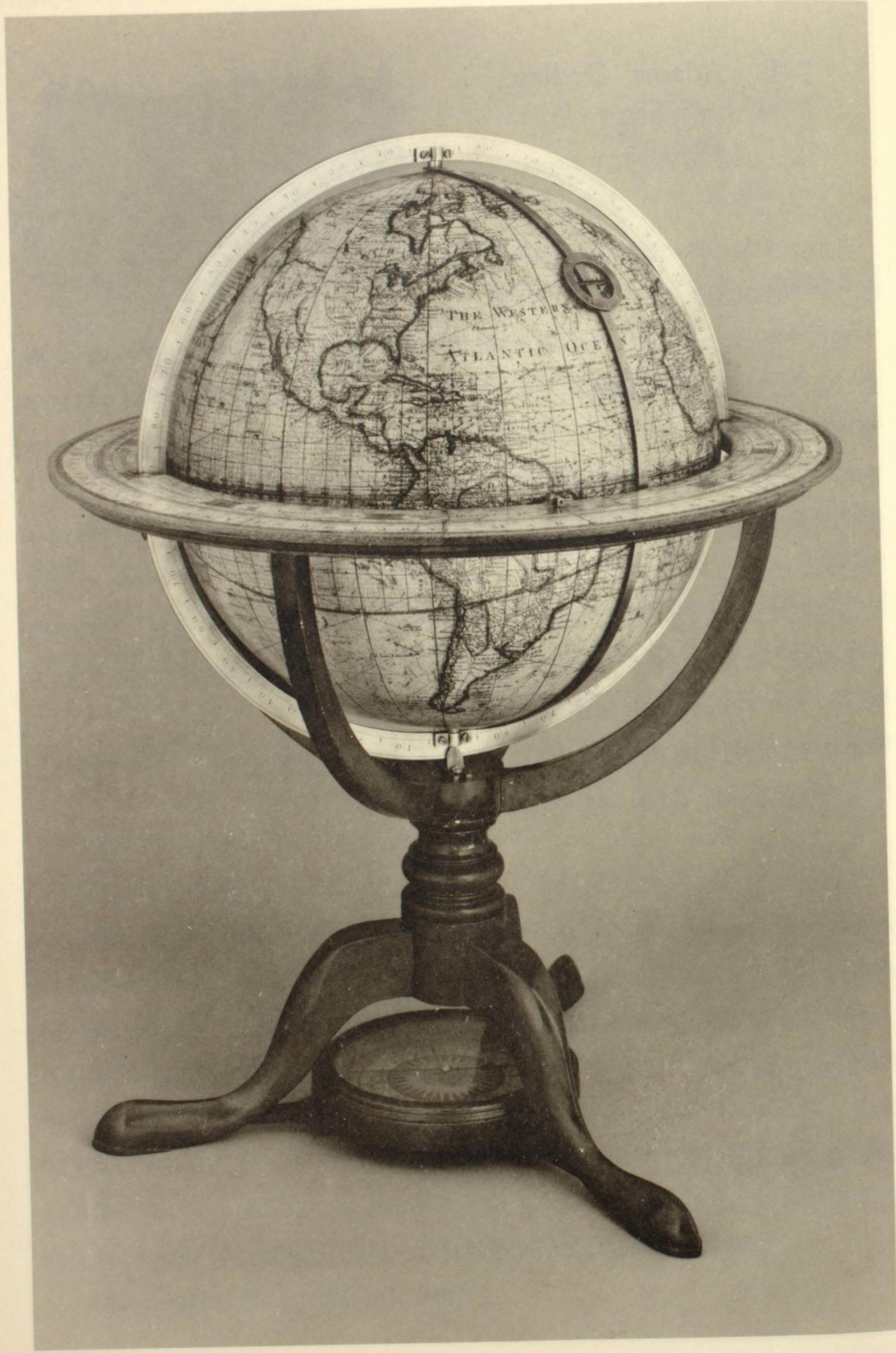


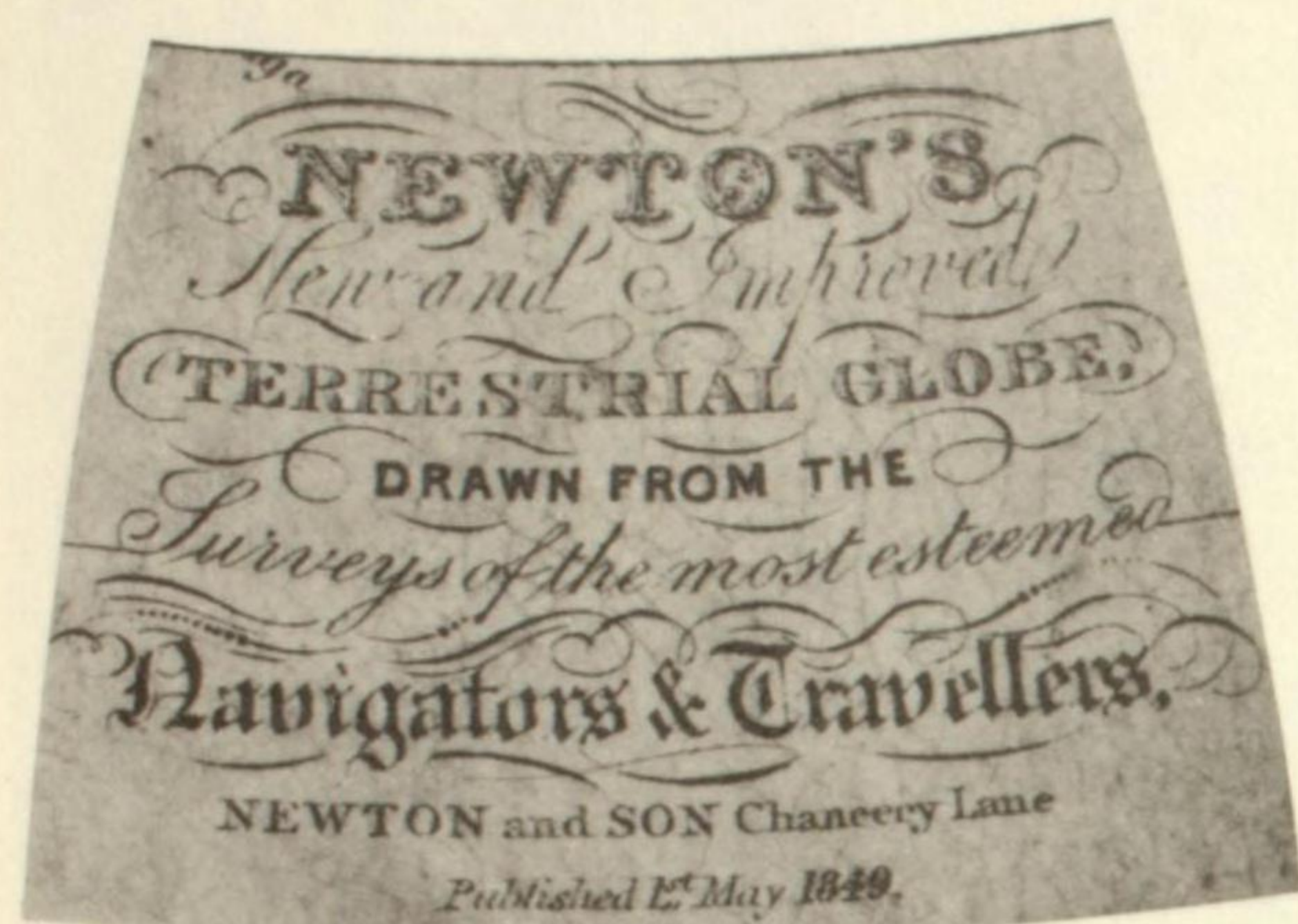
中空の木製の球に天球圖を印刷した24枚の半舟底型紙片をはり合せ、彩色

を施してある。子午環、地平環、臺座、羅針盤及1/4環等は地球儀と全く同一の構造である。赤道及黄道は陰影のある平行線でかかれ、目盛のついた子午線は青色で着色されている。球面には星座を表わす動物、人物、機械等がくわしく描かれている。星座は當時天文学者によつて名付けられたものに限り記入され、動物の像は畫家によつて描かれたものである。各星座は古い名稱と英語譯が付けられ、各星はアラビア語、ラテン語、中國語の名稱で書かれ、ギリシア文字で示されている。新しく発見された星は簡単に見つける事が出来る。又希望峰で後日新たに觀測されたすべての星座を書き入れてある事が海へび座近くにあるインスクリプションに書かれている。

この天球儀も地球儀と共に英國皇帝 George III 世に献上されたものである。

[Stevenson; II, p. 184-185, 249]





8-A Newton, George.
「地球儀」

ロンドン 1849 直径 23 cm

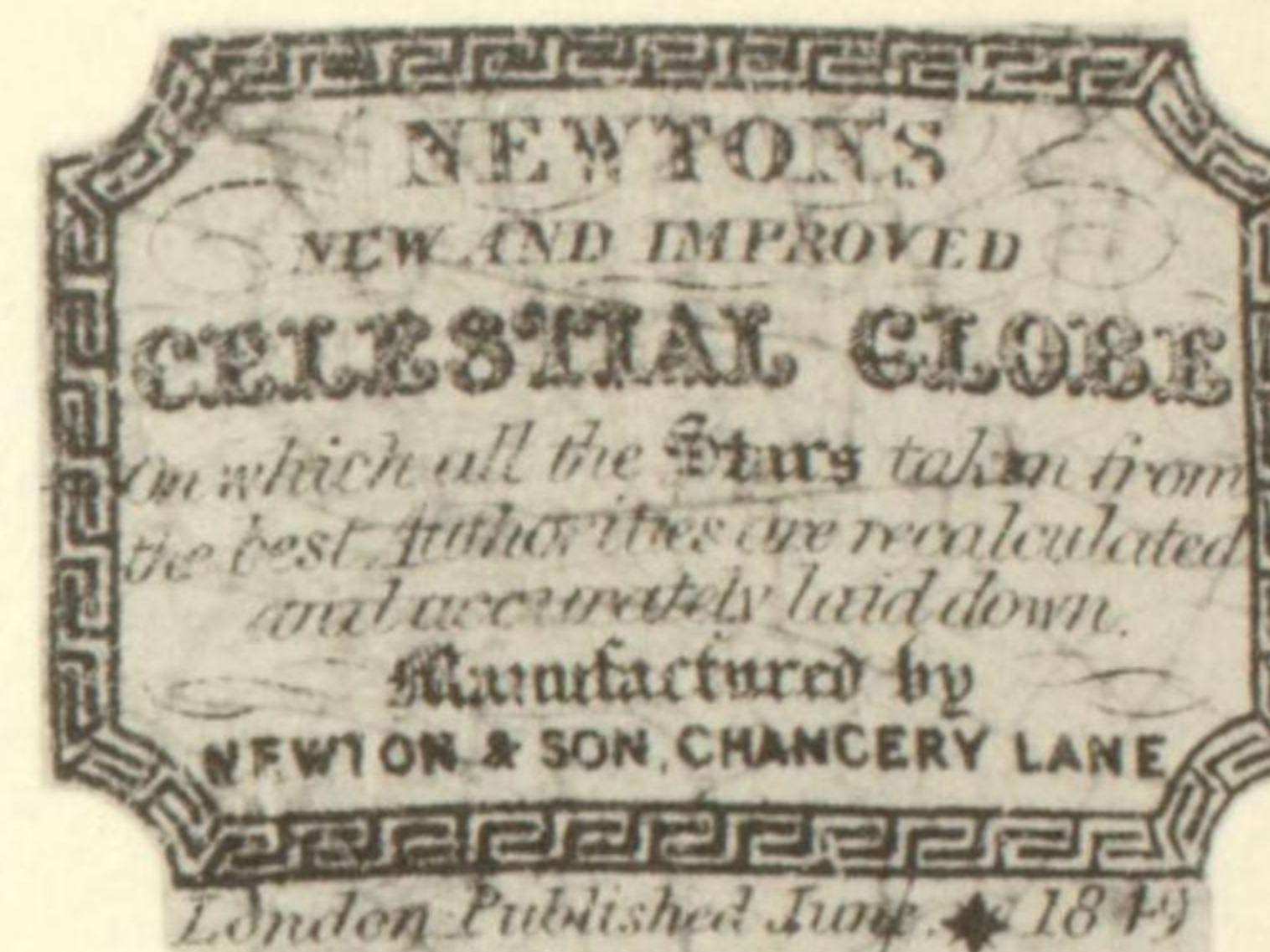
中空の木製の球に12枚の地図を印刷した舟底型紙片をはり合せ、両極を結ぶ軸の両端には半円形の子午環の先端で留てあ

る。陸地、海洋共に茶褐色に着色され、球面全体に光澤がある。各国は赤、青、黒の各色でふちどりされ、赤道は陰影のある平行線で、黄道は目盛りのついた細い線で記し、標準子午環は大西洋上を通っている。地理的名称は比較的正確に記録されている。メキシコの左下に、赤道を中心とした太い目盛りのある八の字帯が縦に記されている。これは太陽の傾斜を示すもので、黄道帯の中に一年中のものが定めてある。この八の字帯の中に目盛りのある陰影の平行線が南北に書かれているが、これは太陽の北と南への傾斜角度を示すものである。この球儀には地平環がなく半円形の子午環が直接象牙の三脚臺を持つた軸に固定されている。

全体の高さは 53 cm で、やや不安定な感がする。アラスカの下にあるインスクリプションによると、球儀の製作は Newton と息子によるもので、1849年3月1日となっている。又地図については最も尊敬する探検家と旅行家による測量図から寫した事が記されている。

8-B Newton, George.
「天球儀」

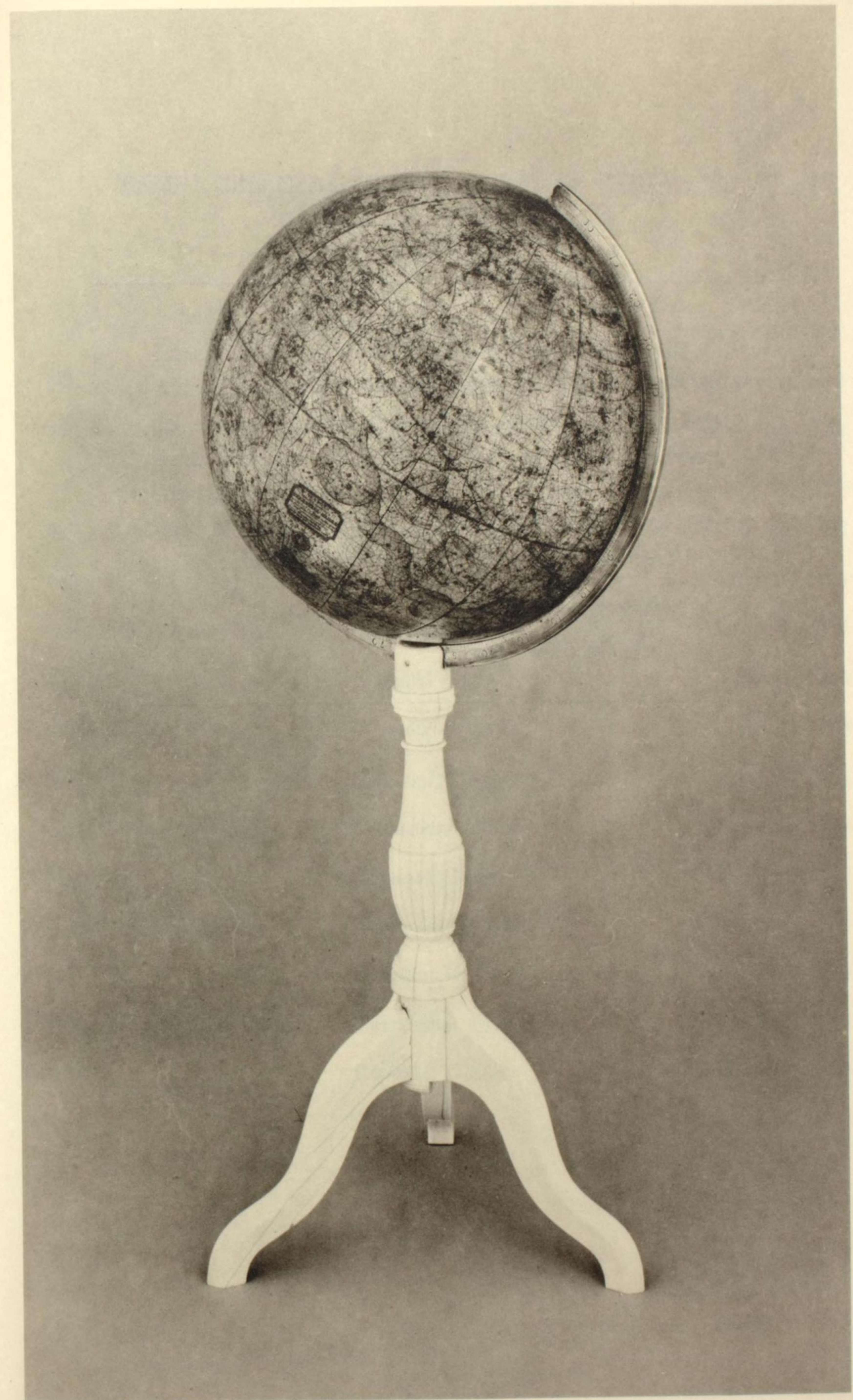
ロンドン 1849 直径 23 cm



中空の木製の球に12枚の地図を印刷した舟底型紙片をはり合せ、両極を結

ぶ軸の両端には半円形の子午環で直接とめられている。子午環、三脚臺は地球儀と同じ製作であるが、球儀は一度改修された爲に、球面は光澤のない茶褐色になつている。南北兩圈内は別の圓形の紙形がはり合わせてあり、赤道、黄道、子午線は共に陰影のある平行線で記してある。球面全体はやや暗く各星座群は不鮮明であるが、海へび座近くにあるインスクリプションに Newton は「その筋の最高權威者から引用したすべての星座は新たに算定され、そして正確に記した」と明記している。

地球儀製作後三ヶ月目、即ち 1849 年 6 月にこの球儀を完成している。



Terrestrial and Celestial Globes are in pair, and the pair is always made by the same hand. In the present volume, we present sixteen pieces of excellent kind among our later acquisitions than those published in our previous issue: Terrestrial and Celestial Globes, I.

They are arranged in chronological order.

XXXIVth Anniversary
18th October, 1964

TENRI CENTRAL LIBRARY PHOTO SERIES, No. 22

Terrestrial and Celestial Globes-II

CONTENTS

1-A	Blaeu, William Jansz.	Terrestrial Globe	Amsterdam	1602
1-B	_____	Celestial Globe	Amsterdam	1602
2-A	Habrecht, Isaac	Terrestrial Globe	Strassburg	1625
2-B	_____	Celestial Globe	Strassburg	1625
3-A	Greuther, Mathias	Terrestrial Globe	Rome	1632
3-B	_____	Celestial Globe	Rome	1636
4-A	Hill, Nathaniel	Terrestrial Globe	London	1754
4-B	_____	Celestial Globe	London	1754
5-A	Desnos, L. C.	Terrestrial Globe	Paris	1768
5-B	_____	Celestial Globe	Paris	1758
6-A	Newton, George	Terrestrial Globe	London	c.1780
6-B	_____	Celestial Globe	London	c.1780
7-A	Adams, Dudley	Terrestrial Globe	London	1795
7-B	_____	Celestial Globe	London	1795
8-A	Newton, George	Terrestrial Globe	London	1849
8-B	_____	Celestial Globe	London	1849

善本寫真集

TENRI CENTRAL LIBRARY PHOTO SERIES

- I 日本近世名家自筆集 (Autographic documents of Edo-period in Japanese literature) 昭和28
- II きりしたん版 (The Jesuit Mission Press in Japan) 昭和28
- III 古俳書 I (Kohaisho-I: Materials of early Haikai) 昭和29
- IV 西洋古版日本地圖集 (Early printed maps and atlases of Japan made in Western countries) 昭和29
- V 開館廿五
周年記念 稀觀本集 (Collection of old and rare books and manuscripts, the 25 th anniversary volume) 昭和30
- VI 滿文書籍集 (Collection of Manchu books) 絶版
- VII 近代作家原稿集 (Collection of Autographic MSS. of Japanese novelists and poets from Meiji-Taishō periods) 昭和31
- VIII 小泉八雲集 (Lafcadio Hearn) 昭和31
- IX 日本史籍 (Classics of the History of Japan) 昭和32
- X 泰西日本記集 (Early Western works on Japan) 昭和32
- XI お伽草子 (Otogi-zōshi: Nursery tales of Muromachi-period) 昭和33
- XII 獨逸文人自筆集 (Autographs of German literati) 昭和33
- XIII 古俳書 II (Kohaisho-II: Materials of early Haikai) 昭和34
- XIV 百科事典 (Encyclopaedias) 昭和34
- XV 開館卅周
年記念 善本聚英 (Collection of old and rare books and manuscripts, the 30 th anniversary volume) 昭和35
- XVI 紀行航海記集 (Collection of Travels & Voyages) 昭和36
- XVII 永井荷風集 (Nagai Kafū) 昭和36
- XVIII インキュナビュラ (Incunabula) 昭和37
- XIX 宋版 (Sung Editions) 昭和37
- XX 地球儀・天球儀 I (Terrestrial and Celestial Globes-I) 昭和38
- XXI 曲亭馬琴 (Kyokutei Bakin) 昭和38
- XXII 地球儀・天球儀 II (Terrestrial and Celestial Globes-II) 昭和39
- XXIII 正岡子規 (Masaoka Shiki) 昭和39

昭和三十九年十月十五日 印刷
昭和三十九年十月十八日 發行

編輯者 奈良縣天理市 天理圖書館
京都市中京區新町通竹屋町南
印刷者 株式會社 便利堂
發行者 奈良縣天理市 天理大學出版部

22

02
Te